

取組名称	人の命も生き物の命も大切に！～生物多様性の宝庫、ジンデ池を守る活動～			団体設立後の経過年数	3年目
応募取組主体名称	ジンデ池生物研究所	活動地域	高知県須崎市	応募取組の活動年数	個人で5年目 団体で3年目
取組主体の種類	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 （概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGs ビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

高知県須崎市にあるため池「ジンデ池」。2018年の西日本豪雨を受けて防災重点ため池に指定され廃止にすると聞き、トンボの希少なトンボの生息地なのではと考え、中学2年から生物調査を個人で開始。絶滅危惧種も含むたくさんの生物を確認。須崎市にジンデ池の保全を伝える。高校1年の時に「ジンデ池生物研究所」を旗揚げし生物調査を継続。地域の方の理解、協力も得て放置されていたため池の再生活動やセミナー開催、生き物探しゲームなど生物多様性を知ってもらおう活動にも取り組んでいます。

実績の要旨

3年間の生物調査の結果、絶滅危惧種を含む多くのトンボ、他の生物を確認。須崎市に防災と環境保全の両立をと訴えた結果、貯水機能を残した防災工事が決定。企画したセミナー、観察会、保全活動では、市内外の参加者の他、地元の集落活動センターや小学校も参加するなど地域の協力のもと、地域の宝として生物多様性の大切さをたくさんの人に伝えています。多くの専門家、研究者とつながれたのも大きな宝です。

取組評価の要旨	環境への貢献	継続的に生物調査をすることで希少生物などを確認。里地里山の豊かな自然の回復をめざします。
	社会・経済への貢献	里地里山の保全、生物多様性の重要性、人の命も生き物の命も守る防災工事の成功例に！
	地域資源の活用	生物多様性の宝庫、ジンデ池での様々な活動を通して生物多様性の楽しく知る場所に。そして人がつながる場所に。
	普及・汎用性	生物多様性セミナー、生き物探しゲーム、観察会や視察の受け入れ、交流を積極的に行い活動をひろげます。
	革新・ユニーク性	昆虫好きの小中高校生がメンバーとなり、活動していること。生物多様性をキーワードに毎回様々な内容のセミナーを工夫。
	継続性	集落活動センター、小学校を中心に地元の住民の理解と協力を追い風に生物多様性が豊かな環境を守っていきます！

展望の要旨	里地里山の自然や生物多様性の豊かな環境を守る大切さを、ジンデ池を軸に更に多くの人を巻き込んでこれからも活動を続けていきます！
-------	--